



報道関係各位

2015年8月25日
「夢・化学-21」委員会
公益社団法人日本化学会

「化学グランプリ 2015」各賞受賞者が決定！

「夢・化学-21」委員会*と日本化学会は、8月21日(金)～22日(土)の2日間、名古屋大学東山キャンパス(愛知県名古屋市)に於いて「化学グランプリ 2015」(通称:化学の甲子園、<http://gp.csj.jp>)の二次選考を実施し、大賞および各賞の受賞者を選出いたしました。みごと大賞を受賞したのは以下の5名です。

吉富 祐太郎 (ヨシトミ ユウタロウ)	筑波大学附属高等学校 (東京都)	3年
和氣 拓海 (ワケ タクミ)	桐朋高等学校 (東京都)	3年
名取 雅生 (ナトリ マサキ)	愛知県立明和高等学校 (愛知県)	3年
光信 拓杜 (ミツノブ タクト)	海陽中等教育学校 (愛知県)	5年*
大野 湧仁 (オオノ ユウト)	愛媛県立松山東高等学校 (愛媛県)	3年

* 中等教育学校の5年生は高校2年に相当

大賞5名のほか、15名が金賞、20名が銀賞、30名が銅賞に選ばれました。各賞の受賞者につきましては、添付の参考資料をご覧ください。

化学グランプリは、全国の中高生に化学への興味・関心を喚起し、意欲・能力を高め、世界にも通用する若い化学者を育成することを目的に、1999年より開催しています。17回目の本年は、7月20日(月・祝日)に全国66会場で実施した一次選考(マークシート式試験)に、3,565名の中高生が参加しました。本グランプリの参加生徒数は第1回(1999年、316名)から約12倍、国際化学オリンピックへの派遣を始めた第6回(2003年、1138名)からは3倍以上に増加しています。その中から一次選考を通過した成績上位者80名の内の70名が、大賞の座をかけて二次選考(実験をともなう記述式試験)に挑みました。

◆国際化学オリンピックへの生徒派遣について

世界約80カ国・地域の高校生が化学の実力を競い合う『国際化学オリンピック』の日本代表生徒は、化学グランプリで優秀な成績を収めた生徒を中心に選出されています。来年の『国際化学オリンピック』(第48回)は7月にパキスタンのカラチでの開催が発表されています。今年も国際大会に向けて、本グランプリに参加した中学3年生・高校1・2年生の生徒から20名程度を代表候補生徒として認定し、代表候補生徒全体の中から、選抜試験を経て代表生徒を決定する予定です。代表生徒の4名を国際化学オリンピックに派遣することを計画していますが、派遣の実施については内外の状況を鑑み、支援団体・関係省庁とも十分に相談して、慎重かつ柔軟に対応することを考えています。

なお、2015年9月26日(土)、化学会館(東京都千代田区)にて、「化学グランプリ2015」表彰式、「第47回国際化学オリンピック」参加報告会、「第48回国際化学オリンピック」代表候補認定式を行う予定です。

※公益社団法人日本化学会、公益社団法人化学工学会、公益社団法人新化学技術推進協会、一般社団法人日本化学工業協会の4団体で構成

お問い合わせ先

公益社団法人日本化学会	： 大倉、瀬田	TEL 03-3292-6164	FAX 03-3292-6318
一般社団法人日本化学工業協会	： 鎌田	TEL 03-3297-2555	FAX 03-3297-2615

各賞受賞者

賞	氏名	フリガナ	学校所在地	学校名	学年	性別
大賞 5名	吉富 祐太郎	ヨシトミ ユウタロウ	東京都	筑波大学附属高等学校	3年	男性
	和氣 拓海	ワケ タクミ	東京都	桐朋高等学校	3年	男性
	名取 雅生	ナトリ マサキ	愛知県	愛知県立明和高等学校	3年	男性
	光信 拓杜	ミツノブ タクト	愛知県	海陽中等教育学校	5年※	男性
	大野 湧仁	オオノ ユウト	愛媛県	愛媛県立松山東高等学校	3年	男性
金賞 15名	秋山 茂義	アキヤマ タカヨシ	東京都	筑波大学附属高等学校	2年	男性
	海士部 佑紀	アマベ ユウキ	兵庫県	灘高等学校	1年	男性
	有田 一翔	アリタ カズト	広島県	広島学院高等学校	3年	男性
	磯田 洋介	イソダ ヨウスケ	大阪府	大阪府立天王寺高等学校	3年	男性
	井上 智揮	イノウエ トモキ	東京都	開成高等学校	3年	男性
	大清水 凌	オオシミズ リョウ	埼玉県	埼玉県立越谷北高等学校	3年	男性
	大谷 直生	オオタニ ナオキ	兵庫県	灘高等学校	2年	男性
	大西 由吾	オオニシ ユウゴ	東京都	麻布高等学校	3年	男性
	小森 優真	コモリ ユウマ	東京都	開成高等学校	3年	男性
	坂部 圭哉	サカベ ケイヤ	愛知県	海陽中等教育学校	4年※	男性
	佐藤 宏樹	サトウ ヒロキ	茨城県	茨城県立水戸第一高等学校	3年	男性
	田坂 祐里子	タサカ ユリコ	沖縄県	昭和薬科大学附属高等学校	3年	女性
	平 翔太	ヒラ ショウタ	兵庫県	灘高等学校	1年	男性
	宮田 一輝	ミヤタ カズキ	愛知県	愛知県立岡崎高等学校	2年	男性
	村山 聖	ムラヤマ セイ	京都府	京都市立堀川高等学校	2年	男性
銀賞 20名	岩原 遼平	イワハラ リョウヘイ	東京都	麻布高等学校	3年	男性
	小野田 哲	オノダ テツ	東京都	東京工業大学附属科学技術高等学校	3年	男性
	笠原 千晶	カサハラ チアキ	石川県	金沢大学附属高等学校	3年	女性
	數實 治己	カズミ ハルキ	東京都	筑波大学附属駒場高等学校	3年	男性
	神里 亮多	カミサト リョウタ	東京都	東京電機大学高等学校	3年	男性
	倉橋 輝	クラハシ ワタル	山口県	山口県立山口高等学校	3年	男性
	古賀 健太	コガ ケンタ	宮崎県	宮崎県立宮崎西高等学校	3年	男性
	後藤 悠人	ゴトウ ユウト	北海道	北海道札幌西高等学校	3年	男性
	今野 直輝	コンノ ナオキ	東京都	筑波大学附属駒場高等学校	3年	男性
	佐藤 快	サトウ カイ	愛知県	愛知県立明和高等学校	3年	男性
	渋谷 勇希	シブタニ ユウキ	兵庫県	白陵高等学校	3年	男性
	菅 雄翔	スガ ユウト	兵庫県	白陵高等学校	1年	男性
	孫 忠源	ソン チュウゲン	福岡県	久留米大学附設高等学校	3年	男性
	土井 聖明	ドイ キョウアキ	広島県	広島学院高等学校	3年	男性
	東城 悟恵	トウジョウ ノリエ	京都府	立命館高等学校	3年	女性
	中尾 龍二	ナカオ リュウジ	兵庫県	甲陽学院高等学校	3年	男性
	中山 悠翔	ナカヤマ ユウショウ	東京都	海城高等学校	3年	男性
	藤原 峻	フジワラ リョウ	愛知県	愛知県立岡崎高等学校	3年	男性
	古田 陸太	フルタ リクタ	東京都	暁星高等学校	3年	男性
	山田 巖	ヤマダ イワオ	東京都	筑波大学附属駒場高等学校	3年	男性

※中等教育学校4年、5年、6年はそれぞれ高校1年、2年、3年に相当

賞	氏名	フリガナ	学校所在地	学校名	学年	性別
銅賞 30名	石崎 梨理	イシザキ リリ	宮城県	宮城県仙台第二高等学校	3年	女性
	磯部 昌幸	イソベ マサユキ	東京都	創価高等学校	3年	男性
	大垣 篤生	オオガキ アツキ	兵庫県	白陵高等学校	2年	男性
	大西 浩二郎	オオニシ コウジロウ	兵庫県	白陵高等学校	3年	男性
	岡谷 一生	オカタニ カズキ	兵庫県	灘高等学校	2年	男性
	岡本 姫奈	オカモト ヒメナ	兵庫県	雲雀丘学園高等学校	2年	女性
	上武 佳生	カミタケ ヨシオ	兵庫県	灘中学校	3年	男性
	木村 南	キムラ ミナミ	大阪府	大阪府立天王寺高等学校	3年	女性
	久野 将也	クノ マサヤ	静岡県	静岡県立磐田南高等学校	3年	男性
	五藤 実	ゴトウ ミノル	愛知県	愛知県立一宮高等学校	3年	男性
	下川 拓己	シモカワ タクミ	福岡県	久留米大学附設高等学校	3年	男性
	進 亮太郎	シン リョウタロウ	大分県	大分県立大分豊府高等学校	3年	男性
	鈴木 啓朗	スズキ ヒロアキ	神奈川県	浅野高等学校	2年	男性
	曾根 佑介	ソネ ユウスケ	東京都	桐朋高等学校	3年	男性
	田畑 陽太郎	タバタ ヨウタロウ	埼玉県	開智高等学校	3年	男性
	都々木 一平	ツヅキ イッペイ	福岡県	福岡県立修猷館高等学校	1年	男性
	手塚 玄惟	テヅカ ハルノブ	神奈川県	栄光学園高等学校	3年	男性
	鉄川 源太	テツカワ ゲンタ	神奈川県	栄光学園高等学校	2年	男性
	仲内 豪	ナカウチ ツヨシ	東京都	巣鴨高等学校	3年	男性
	西原 和樹	ニシハラ カズキ	東京都	開成高等学校	1年	男性
	野中 和希	ノナカ カズキ	鹿児島県	ラ・サール高等学校	2年	男性
	花村 優太	ハナムラ ユウタ	岐阜県	岐阜県立岐阜高等学校	3年	男性
	味村 拓海	ミムラ タクミ	東京都	早稲田大学高等学院	3年	男性
	森 夕紀子	モリ ユキコ	東京都	立教女学院高等学校	3年	女性
	柳生 健成	ヤギウ ケンセイ	愛知県	愛知県立岡崎高等学校	1年	男性
	山崎 宏紀	ヤマザキ ヒロキ	兵庫県	甲陽学院高等学校	3年	男性
	山下 優樹	ヤマシタ ユウキ	兵庫県	灘高等学校	3年	男性
	吉田 龍平	ヨシダ リュウヘイ	千葉県	千葉市立千葉高等学校	3年	男性
	吉行 琢馬	ヨシユキ タクマ	岡山県	岡山県立玉島高等学校	3年	男性
	米山 維斗	ヨネヤマ ユイト	東京都	筑波大学附属駒場高等学校	1年	男性

◆国際化学オリンピック (IChO=International Chemistry Olympiad)

1968年に東欧3カ国(ハンガリー、旧チェコスロバキア、ポーランド)が始めた高校生の学力コンテストから発展した、1年に1度開催される高校生の「化学」の国際大会。今年行われたアゼルバイジャン大会(バクー)には、75カ国・地域から292名の高校生が参加しました。

大会は通常、毎年7月に10日間開かれ、それぞれ5時間に及ぶ実験課題と筆記問題が出題され個人単位で競われます。成績優秀者には金メダル(参加者の1割)、銀メダル(同2割)、銅メダル(同3割)がそれぞれ贈られます。

日本は2003年のアテネ大会より参加しており、2004年のドイツ・キール大会から12年連続で参加生徒全員がメダルを獲得しています。

2010年には、国際化学オリンピックを日本(東京)で初めて開催しました。さらに、2021年に日本で国際化学オリンピックが再び開催することが決定しております。

◆「夢・化学-21」委員会について

「夢・化学-21」委員会[※]は、化学の啓発と化学産業の社会への貢献の理解促進を目的に1993年に発足しました。同委員会では、日本の将来を担う小中高生を主な対象とした活動を展開。化学グランプリのほか、化学の面白さや不思議さを通じて、化学技術の重要性や化学製品の有用性を知ってもらうため「子ども化学実験ショー」や、「なぜなに?かがく実験教室」などの実験体験活動などを行っています。(ホームページ: <http://www.kagaku21.net>)

※公益社団法人日本化学会、公益社団法人化学工学会、公益社団法人新化学技術推進協会、一般社団法人日本化学工業協会の4団体で構成